

みなさんの「地域づくり」の活動を応援します

第19回

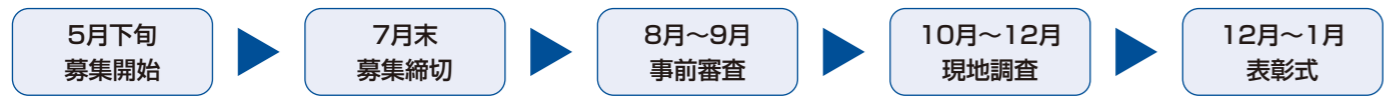
中部の未来創造大賞

中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの
 - 生活・自然環境の保全を行っているもの
 - 景観の向上を行っているもの
 - 観光資源として活用しているもの
 - 地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
 - 資源の再利用を行っているもの
 - 公共施設の整備にあたって、コスト削減等に有効な新技術、新工法の研究開発を行っているもの
2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関する活動
3. 伝統的な建造物の保存、復興等を行っている活動

第20回「中部の未来創造大賞」の募集予定

- 募集期間(予定)
平成31年5月下旬～7月末 (詳細は、募集開始時にホームページに掲載します。)
- 応募条件
 - 長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県内における活動を対象とします。
 - 自らが参加している活動であり、特許・著作権またはプライバシー等の権利を侵害しないものに限り、ます。
 - 資格、年齢等は問いません。
 - 再応募ができます。(但し、これまでの「中部の未来創造大賞」にて大賞を受賞された活動は除きます)
- 選考について(予定)
学識経験者等からなる表彰委員会により選考します。必要に応じて現地調査、面談等を行います。
- 賞(予定)
 - 大賞・・・1件[賞状、盾、賞金10万円]
 - 優秀賞・・・3件程度[賞状、賞金5万円]
 - 特別賞・・・中部経済連合会賞、中日新聞社賞 他



※受賞後3年間は受賞活動の後援、推薦(他機関が募集する賞や助成への推薦)を行います。(協議会への申請と確認が必要です。)
 ※個人情報等については、当協議会が行う中部の未来創造大賞以外には使用いたしません。受賞された応募案件につきましてはホームページ・パンフレット等で、団体名、住所、電話番号、FAX、URLを公開いたします。前述をご了承の上、ご応募下さい。

●これまでの主な受賞活動

第18回 大賞(平成29年度)

地域を守るのは ほくらだ!
～学校・地域・関係機関が連携した防災活動～

岡崎市立常磐東小学校



第17回 大賞(平成28年度)

「地域のデザイン」を、住民自治で!

美麻地域づくり会議



第16回 大賞(平成27年度)

和みの散歩道の会
～高架下空間を活用した地域結び～

和みの散歩道の会



FUTURE
CREATION
2018

FUTURE CREATION 2018

中部の未来創造大賞

主催/中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞 で 検索

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL(052)953-8127
 一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部 — TEL(052)962-9455
 URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>



中部の未来創造大賞推進協議会

●この冊子は再生紙を使用しています。

第19回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。第19回目にあたる今回は24件の応募をいただきました。表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件が選考されました。本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

■受賞の対象

- ・ 受賞の対象は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県における社会資本整備及びその利用・保全に関する活動に顕著な貢献が認められるもの
- ・ 個人又は、団体(自治体、企業、NPO等)を対象



特定非営利活動法人 e-plus生涯学習研究所
(岐阜県岐阜市)



湖西フロンティア倶楽部(静岡県湖西市)



天竜川鷺流峡復活プロジェクト
(長野県飯田市)



静岡県立浜松城北工業高等学校・環境部
(静岡県浜松市)



いはらの川再生PJ会(静岡県静岡市)

CONTENTS

第19回「中部の未来創造大賞」について…………… 1

大賞

地域の大切な自然や環境を守る
「地球にやさしいエンジニア」
静岡県立浜松城北工業高等学校・環境部
…………… 3

優秀賞・中日新聞社賞 ※同時受賞

不法投棄ゼロを目指し天竜川鷺流峡の景観を
取り戻す「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」
天竜川鷺流峡復活プロジェクト
…………… 5

優秀賞

環境を知るはじめての一步
「科学の知を生かす環境学習」
特定非営利活動法人 e-plus生涯学習研究所
…………… 7

優秀賞

「いはらの川再生プロジェクト」
～ふるさとのニホンウナギを救え!
庵原から日本へ!そして世界へ!～
いはらの川再生PJ会
…………… 8

中部経済連合会賞

市民団体が創造力を発揮し、
地域の協働でつくる祭りの取り組み
湖西フロンティア倶楽部
…………… 9

選考を終えて(表彰委員より)…………… 10

これまでの主な受賞活動…………… 11

地域の大切な自然や環境を守る 「地球にやさしいエンジニア」



静岡県立浜松城北工業高等学校・環境部

〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉5丁目16-1
TEL 053-471-8341
URL <http://www.edu.pref.shizuoka.jp/hamamatsujohoku-th/home.nsf>



私たちの工業高校は、オートバイと楽器づくりの街として有名な工業都市“浜松”にあり、周辺には美しい浜名湖や水量豊富な天竜川そしてコアジサシ(渡り鳥)のコロニーやアカウミガメの産卵地としても知られる中田島砂丘などがあり、自然環境に大変めぐまれています。

こうした中であって、本校では教育目標のひとつに生徒一人一人が「地球にやさしいエンジニア」を掲げ、1991年より“ボランティア活動”と“ものづくり”を通した工業高校における特色ある実践的環境教育活動に取り組んでいます。

1995年には、環境教育活動を推進するリーダーを育成する「環境クラブ」(現在の環境部)が設立され、当初は12名だった部員も現在では100名が所属しています。部員達は自然や環境に配慮した“ものづくり”と“環境ボランティア活動”を中心に、地域の自然を守り社会に貢献する中で、地球にやさしいエンジニアとして成長し、友人、家族、地域の人々にも共感の輪を広げ、持続可能な社会の大切さを伝えていくことを目標に活動しています。

本校では、環境部員を中心に全国の工業高校に先駆け国際規格「環境マネジメントシステム(ISO14001)」・内部監査員研修(合格852名)にも挑戦、また、年間を通して取り組む生徒たちの環境ボランティア活動を、英語・数学等と全く同様の卒業認定単位(認定462名:「工業技術基礎」の増加単位)として認定する県下で唯一の工業高校となっています。



地域の自然を守る「環境ボランティア活動」(潜在自然植生による森づくり)



地域の自然を守る「環境ボランティア活動」(里山づくり)



地域の自然を守る「環境ボランティア活動」(防潮堤の植樹)

不法投棄ゼロを目指し天竜川鷲流峡の景観を取り戻す「天竜川鷲流峡復活プロジェクト」



天竜川鷲流峡復活プロジェクト

〒399-2565 長野県飯田市桐林505 竜丘自治振興センター内
TEL 0265-26-9303
URL <https://ja-jp.facebook.com/fukkatugaryuukyuu/>



鷲流峡は長野県南部を流れる天竜川にある渓谷で、舟下りのルートにもなっている景勝地です。しかし、河岸の放置竹林の拡大や、そこへのゴミの不法投棄などにより、美しい景観が損なわれるという問題が生じてきました。

この渓谷を舟で下る船頭さん達の呼びかけがきっかけとなり、竜丘地域自治会と信南交通(株)天竜舟下り事業部が連携して、天竜川鷲流峡復活プロジェクトを設立し、放置竹林の伐採などの景観保全を行うことになりました。

活動を続けながら仲間を増やし、竹林の伐採作業や渓谷沿いにある県道のガードレールの洗浄作業、竹林内のゴミ清掃などの活動を行っています。

このプロジェクトを継続していくためには、補助金だけに頼らない自主財源を確保する必要があると考え、竹を資源として活用することにも積極的に取り組んでいます。一例をあげると、竹筏による川下りや竹灯籠づくり、幼竹を使ったメンマ作りとその販売などがあります。これらの体験型観光資源や農産加工品の創出は、地域の産業振興にも役立っています。

また、地元の小学校、高等学校等とも連携し、様々な体験学習、環境教育の場としても活用されており、次世代を担う人材の育成にも貢献しています。



過酷な斜面で竹林整備



高校生とメンマづくり



楽しくいかだ下り

環境を知るはじめての一步 「科学の知を生かす環境学習」



特定非営利活動法人 e-plus生涯学習研究所

〒500-8234 岐阜県岐阜市宇島3丁目7番7号
TEL 058-245-6442 090-7028-4468
URL <http://e-plus.jp/>



当NPOが行っているのは、自然保全の具体的な活動ではなく、環境や地域について知り、その知識を基に考えて行動しようとする思いを育てる環境学習を行うことです。

環境の最初の一步を楽しく面白いプログラムとして提供することで、その後の環境活動の裾野を広げることができると考えています。そのため、環境や科学に対する興味を掻き立て、参加者自らが知りたいと思う「きっかけ」や「楽しく学ぶ」場を提供し、楽しく体験できる講座を開催しています。

知る・学ぶ場としては、河川環境楽園水辺共生体験館や地域公民館で行う工作体験活動があり、環境と科学について多角的に興味を持つように水や川・光・エネルギーを扱う親子科学教室や実験コーナー、水源林教室などを開催しています。

自分にできることにつなぐ学習活動としては、学校の総合学習の時間を利用した水や川を学ぶ学習活動があります。特に、川が多く水の学習をする機会が多い岐阜県では、水や川を知り、生き物や川の上流の様子、身近な川の防災まで体系的に学ぶことが必要と考えており、岐阜県や自治体環境課等とも協力して「川の生き物調査」等の体験を含めた学習活動を毎年6~10校で実施しています。



水辺共生体験館夏休み科学工作教室UVビーズ



長森南中学校の生き物調査

「いはらの川再生プロジェクト」 ～ふるさとのニホンウナギを救え! 庵原から日本へ!そして世界へ!～



いはらの川再生PJ会

〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町1丁目6番4号 (株)フタバコーケン内
TEL 080-6985-8742



庵原川は静岡市清水区内を流れ清水港にそそぐ二級河川です。河川工事で治水上の安全は確保されつつある一方で、生き物が住む場所は減少していく傾向にあります。全国的な問題となっているニホンウナギ減少の要因には、生息環境の悪化が大きな要因の一つにあると言われていますが、庵原川でも昔は豊富に見られたニホンウナギも少なくなってきているとともに、川に関心を持つ地域住民も減少し、防災や地域の魅力づくりの観点からも問題となっています。

そこで、河川管理者であり、「土木の現場でつながろう!」をコンセプトとした「静岡どほくらぶ」を進めている静岡県静岡土木事務所と地域が協働でニホンウナギ等の水生生物の保護再生活動に取り組んでいます。

洗掘防止や根固め機能といった治水機能と水棲生物の生息空間確保機能を兼ね備えた「石倉カゴ」を設置し、設置後のウナギ等の生息状況調査(モニタリング)やカゴ保全等を庵原地区の有志で結成した「いはらの川再生PJ会」が中心となって行っています。会のメンバーは地元庵原の若いお父さんやその子供達を中心に、東海大学海洋学部水棲環境研究会、民間企業や専門家など約50名です。

ニホンウナギの保護再生活動によって庵原の優れた河川環境を次世代に残し、庵原で生まれた子供や若者をはじめとする庵原人が庵原川を誇りに思い、地域の宝物となるような取組にしたいと日々頑張っています。



モニタリングの様子



庵原川でつながる仲間たち

市民団体が創造力を発揮し、地域の協働でつくる祭りの取り組み



湖西フロンティア倶楽部

〒431-0441 静岡県湖西市吉美2271-1(鈴木方)
TEL 090-1291-3210
URL https://www.kosai.org/?page_id=44



当倶楽部は、平成4年に地域の活性化を目指して設立し、環境保護活動や青少年リーダーの育成など地域づくり活動に取り組んできました。活動エリアは湖西市北部にある「おちぼの里親水公園」とその周辺の里山が中心です。年間を通じて公園の整備や草刈りなどを行っていますが、多くの皆さんに自然の恵みを実感していただくことを目的に、年3回の親水公園まつりを実施しています。

祭りは、自治会や湖西市、他団体の方との協働で取り組んでおり、資金をかけずに参加者のニーズに合った事業計画を立て実施することで毎回多くの参加者に楽しんでもらっています。

5月の春の親水公園祭りでは、使われなくなった鯉のぼりを寄付していただき、公園内に飾り来園者を楽しんでもらい、地元野菜や授産施設の手作りパンの販売、芸能発表会なども行っています。

11月の秋の親水公園祭りで実施するハイキングでは、国指定文化財である大知波峠廃寺跡を目的地とし、公園とその周辺の秋の自然を満喫することが出来ます。

2月の親水公園梅まつりでは、隣接する梅林で花見を楽しみ、6月には梅の収穫体験も実施しています。



無料クラフト体験(竹笛・木製ペンダント)



春の親水公園祭り

委員長

名古屋工業大学名誉教授

山本 幸司 やまもと こうし

顕彰をお受けになった5団体の関係各位に敬意を表します。今回ご応募頂いた団体の多くではメンバー構成や活動内容がますます多様化しておられることが特徴といえます。今後とも地域のまちづくり、環境保全、減災対策等のために精進下さいますようお願い致します。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

今回評価を受けた団体や学校は、いずれも地域の環境を自ら保全、改善しようという高い「環境マインド」に基づく自主的な活動である。地域コミュニティの維持発展に資する環境活動が世代を越えて一層活発に展開されることを期待したい。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

活動を継続していくのは並大抵のことではないと思う。しかし、長い活動歴を持ついくつかの団体にお話を聞いたところ、それぞれに工夫があった。また参加者から新しい目標や喜びをもらうのが力になると言っていた。

選考を終えて (表彰委員より)

委員

名古屋大学大学院環境学研究科助教

高取 千佳 たかとり ちか

この度、応募して頂いた各団体とも、環境教育・防災意識向上や、資源の発掘・活用による地域活性化など、時流を捉えたテーマに意欲的に取り組まれていらっしゃいました。多様な世代・立場の方が一堂に会し、思いやアイデアを実現されていく姿に、感銘を受けました。今後も、中部の未来を拓く創造力・想像力の益々のご発展・深化を祈念しております。

委員

中日新聞社事業局長

澤田 敬介 さわだ けいすけ

今回応募された各団体の多くから、地元の伝統や絆、景観、自然環境を守り、若い世代に受け継いでいこうという強い意志と熱意を感じ取りました。地道な取り組みから未来へ。各活動のさらなる発展を期待しています。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介 くりはら だいすけ

今回は、地域の未来を担う若い世代への教育を通じた取り組みをはじめ、多世代や地域の企業との連携、自然環境を対象とした地域づくりなどの取組が印象的でした。今後とも継続的な活動により、さらなる地域貢献に寄与されることを期待しています。

委員

中部地方整備局企画部長

岩田 美幸 いわた よしゆき

応募頂いた活動では、地域の課題と向き合い多様な主体による地域づくりや環境教育などで協働された取組が数多く見受けられ、地域の担い手の熱意と地域交流の広がりなどを拝見し中部の未来を育む力を心強く感じました。今後も皆様のご活躍と更なる深化を期待します。



中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタント協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社
中日新聞社

後援/一般社団法人
中部経済連合会